

### 1 石炭粉じんの影響について

施設の稼動に伴い発生する石炭粉じんによる環境への影響について、事業実施区域周辺での降下ばいじん量、風況測定などの事後調査を実施するとともに、石炭粉じん対策として実施する CDQ（コークス乾式消火設備）の設置、押出機窯口への集じん機の設置及び防じんネットの効果についても検証を行なうこと。

### 2 水質について

施設の稼動に伴い排出される温排水により周辺海域の水温上昇域が広がると予測されていることから、排水水については、準備書に記載されたとおり、クーリングタワー等を設置するなどして可能な限り水温を低下させ放流すること。

また、水質汚濁に係る環境基準は満足するものの、排水量の増加に伴って窒素等の負荷量が増加するため、アルカリストリッピング処理を確実にを行い、汚濁負荷量の可能な限りの削減を図ること。

### 3 温室効果ガスについて

施設の稼動に伴い、二酸化炭素の排出量が増加することから、準備書に記載された石炭調湿や CDQ 発電に確実に取組むことで、二酸化炭素の排出量の可能な限りの削減を図ること。